

知識は 旅をする

千葉県立東部図書館だより

2019年11月

第66号



『仮名読八犬伝』為永春水(2代目)作、歌川国芳画ほか
〔菜の花ライブラリー〕千葉県デジタルアーカイブ

▼ 歴史講座のご案内

「江戸時代のアウトローと関八州取締」

講師：児玉 憲治 氏（千葉県文書館 嘱託職員）

日時：11月8日（金）13:30～15:30

定員：60名（申込先着順）

申込み：来館・電話・FAX・メールにて

TEL:0479-62-7070 FAX:0479-62-7466
E-mail:elib-kouza@mz.pref.chiba.lg.jp

▼ 展示のご案内

ガラス展示コーナー

「ミステリー特集」

1月16日まで

展示中

資料紹介コーナー

「松本清張」

12月19日まで

展示中

歴史講座に関連するミニ展示もしています
講座とあわせてぜひ足をお運びください！

▼ 「新千葉県立図書館等複合施設基本計画」を策定しました

令和元年8月に県と県教育委員会が策定したこの計画は、「千葉県立図書館基本構想」や意見募集の結果を踏まえ、県立図書館3館の集約や図書館と文書館との複合化を含めた、千葉県の新たな知の拠点づくりの考え方を整理したものです。

今後は、この計画に基づき、新施設を県立青葉の森公園内（千葉市中央区）に整備し、「文化情報資源の集積と活用を通じて、知の創造と循環を生み出し、光り輝く千葉県の実現に貢献する」という基本理念の実現に向けて取り組んでまいります。

なお、基本計画や関連資料は、東部図書館で閲覧できます。また、千葉県教育委員会のホームページからダウンロードすることもできます。

▼ 「マイライブラリー」の仮パスワードを発行しています

「マイライブラリー」とは、インターネット上で借りている資料の確認、返却期限の延長、資料の予約等ができる便利なシステムです。

ご利用には仮パスワードの発行が必要です。カウンターでお申込みください。

▼ 年末年始休館のお知らせ

12月29日（日）から1月4日（土）まで休館します。なお、休館中でも資料の返却ができますので、東部図書館正面、入口左側のブックポストをご利用ください。

ホームページ URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

携帯電話サイト URL

<http://www.library.pref.chiba.lg.jp/m/>

携帯電話機の

QRコードリーダーでアクセスできます→

↑PC・スマホ等の方はこちらへ





『映画術

その演出はなぜ心をつかむのか』

塩田明彦著

イースト・プレス 2014 [7784/ 47]

映画の見方が変わる1冊。映画監督である著者がヒッチコックや小津安二郎などの具体的な映画のシーンを取り上げながら、なぜその演技と演出が映画を面白くしているのかを分析しています。テーマは「動線」「視線と表情」「動き」など。「現場に入ったとき、まず「動線」を見る」「最初に撮りたいのは俳優じゃないのに、最後にすがりつくのは俳優」といった映画の作り手ならではの視点が楽しめます。

雑誌『キネマ旬報』が毎年発表している「映画本大賞」にもランクインしました。



『アニメーション、折りにふれて』

高畑勲著

岩波書店 2013 [77877/ 74]

「火垂るの墓」「平成狸合戦ぽんぽこ」「かぐや姫の物語」などの映画作品で監督を務めた高畑勲氏の、生前最後のエッセイ集です。日本文化や日本語のこと、児童文学から受けた影響、共に映画を作ってきた仲間たち、映画制作の手法、禁煙のこと、タブレット端末を初めて触ったときのこと、そして、人生の後輩たちへのメッセージ。論考のような専門的な内容から、日常生活の中のあれこれまで、幅広い文体で様々なことが綴られています。アニメーションに生涯を捧げた高畑氏の内面が窺える1冊です。

図書館ぶらり散歩(47)



令和元年は日本映画生誕 120 年*、『キネマ旬報』創刊 100 周年。

(※明治 32 年に日本人によって撮影された日本映画が初めて公開されてから 120 年)



『21世紀映画チラシコレクション

永久保存版 2000~2004』

キネマ旬報社

2006 [7782/65/04]

映画館へ映画を観に行った際、館内のポスターやチラシを眺めて開演までの時間を潰すという方。そんなあなたへ特にオススメしたい1冊です。この本には2000年から2004年にかけて日本で劇場公開された洋画・邦画のチラシが紹介されています。少し前の作品達ですが、内容を思い出しながら当時の自分を振り返って読んでみるのも楽しいかもしれません。また、普段あまり映画を観ないという方も、まずはチラシから内容を想像していただき、鑑賞のきっかけになればと思います。芸術の秋、是非お気に入りの作品を見つけてください。



『ディズニー・ミュージック

ディズニー映画音楽の秘密』

谷口昭弘著

スタイルノート 2016 [77877/ 46/16]

ディズニーのアニメ映画では、必ず映像に合った音楽がストーリーを盛り上げています。この本では、1928年から2013年までに公開されたディズニーのアニメ映画70作品余について、音楽製作の舞台裏や、音楽がどのように作品を魅力的にしているかなどを解説しています。例えば、登場人物の動きに合わせて音をつけることを「ミッキーマウジング」と呼ぶこと、ディズニー映画が「リトル・マーメイド」以降ミュージカル要素が強くなったことなど、なるほどと思う知識が満載です。ぜひ映画を観てからこの本を読み、映画をより深く楽しんでみてください。



オリンピック・パラリンピック 関連資料紹介コーナー



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催まで、300 日を切りました。千葉県立東部図書館では、今年度を通して当館で所蔵しているオリンピック・パラリンピック関連資料を紹介しています。第1弾はオリンピック・パラリンピックを様々な切り口で取り上げた資料を、第2弾は「千葉県で開催される競技」をテーマに関連資料を、第3弾となる現在は「メダリストの本」と題して、日本人メダリストの著書を集めました。



＜第1弾＞
「オリンピック・パラリンピック関連資料」
オリンピックの歴史や1964年の東京五輪、パラリンピック、写真集など

＜第2弾＞
「千葉県で開催される競技」
テコンドー・フェンシング・サーフィン・レスリング・ゴールボール・シッティングバレーボール・パラテコンドー・車いすフェンシングの関連資料



＜第3弾＞
「メダリストの本」
昭和と平成の日本人オリンピックメダリストの著書

また、東部図書館では、オリンピック・パラリンピック関連展示で使用した資料をセットにして、近隣の市町村立図書館等で展示する「巡回展示」を実施しています。お近くの図書館で巡回展示を目にすることがありましたら、ぜひ、お手に取ってみてください。

明治30年代から大正期を経て、昭和初期まで、山武市成東にある波切不動尊の隣には、県下唯一の鉾泉旅館『成東館』があった。総二階建ての旅人宿と別棟に鉾泉浴場を構え、百本ほどの梅樹と太鼓橋の架かる意匠を凝らした池のほかに、藤棚や多くの銘石をしつらえた中庭を持った成東館は、当時人口4000人足らずの町にあっては、ひときわ立派な旅館であり、明治後半～大正の一時は湯治を目的とした多くの文士や政界の有力者らの夤縁宿となって賑わったという。

成東館についてまとめてみると、○従業員総数…約40名 ○宿泊料…一等 壹円（明治33年時、小学校教員や巡査の初任給が10～13円。二等は75銭で食事の品数に差があった。）

○料理…飯椀物のほかに、旅館裏の畑で栽培・収穫した種々の野菜や地元でとれた「どじょう、なまず、うなぎ、鯉」などの川肴も調理して食膳に供された。東京から腕利きの和洋の料理番を呼び寄せていただけあって、「シチュウ（シチュー）煮」や「オムレツ」などのハイカラな西洋料理もメニューに加え、当時、まだ一般庶民にとっては高嶺の花だった「ビール」もそろえているほどであった。（ちなみに、銘柄はエビスビール（37銭）とカブトビール（35銭）の2種類。）

○主な浴客…尾崎紅葉、泉鏡花（尾崎とともに明治35年に宿泊。このときの滞在に想を得て、のちに成東館を舞台にした戯曲『愛火』を著す。）、徳田秋声、岡本綺堂、半井桃水（成東館の常連客で樋口一葉の師匠）、松本幸四郎（歌舞伎役者）、床次竹二郎（大正～昭和初期に内務大臣、通信大臣など多くの大臣を歴任した大物政治家）ほか多数。

○その他1…酒は関西の灘の酒造りの本舗から「沢之鶴」などの上等の酒を直接仕入れていた。中庭の梅林で採れた梅の実から梅酒や梅干しをつくり、常連客に毎年必ず送り届けるなど積極的な営業活動とアフターサービスにも気を配っていた。

○その他2…半井桃水による紹介で、明治三奇人の一人とされた記者の「小川定明」が三年間、素性を隠して成東館で働いていた。湯治で成東館を訪れた旧知の仲間の多くが、今、自分たちの目の前で戯言を言って、場を和ませている滑稽な初老の男を定明だと気づかず、後にその正体を知って大変悔しがったという。（定明はこうして仲間を欺くことを心から楽しんでいたのである。）

栄華を極めた成東館だが、昭和初期に起きた御家騒動により廃業に追い込まれてしまう。三十数年間という短い営業期間ながらも県内外にその名を轟かせ、多くの著名人が遠くの箱根の湯を避け、わざわざここを訪れるようになったのは、成東館のお客に対する「誠心誠意のおもてなし」があったからだと思う。残念ながら、現在ではこの地に成東館の面影はなく、ひっそりと鉾泉碑と鉾泉井戸の跡を残すのみだが、およそ100年前、ここを訪れた文士や名士たちは湯に浸かりながら、月光に照らされた不動尊と中庭の梅との美しい組み合わせに思わず感嘆したことであろう。

また、気の置けない仲間と心行くまで酒を酌み交わし、歓談に時の経つのを忘れたに違いない。

引用・参考文献

成東町編『鉾泉旅館「成東館」物語』成東町 2002 〔東 C688/19〕

成東町企画・編集『〈図説〉成東町のあゆみ 成東町制施行五十周年記念』成東町、2005 〔東 C225/FO6-12〕

- 県立図書館の資料は、市町村立図書館などを通じて利用することもできます。お近くの図書館、公民館図書室等の読書施設にご相談ください。
- 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

いよいよ！2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会が近づいてきました。関連資料紹介コーナーでは、千葉県の開催競技、メダリストの本などを順次紹介しています。また、市町村立図書館での巡回展示にも資料を活用し、機運の醸成を図って参ります。お楽しみに。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521

千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

FAX 0479-62-7466

URL: <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/>